

WEB 経営診断を踏まえた3カ年ロードマップ策定と 行動規範策定

社会福祉法人 ときわ会

住所 / TEL	静岡県周智郡森町向天方1117番地 1 / 0538-85-5211	
URL / E-mail	/ toki5211@siren.ocn.ne.jp	
経営理念	<p>法人基本理念</p> <p>「多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を維持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援する。」</p> <p>「子どもの幸せと、家庭・地域社会の幸せに貢献する」</p>	
事業内容	保育所（120名）1か所	
収入 (法人全体) 平成23年度決算	①社会福祉事業 ②公益事業 ③収益事業 合 計	121,788,760円 0円 0円 121,788,760円
従業員数 (法人全体)	28名（非常勤含む）	

モデル事業改善事例報告



社会福祉法人 ときわ会 ときわ保育園
平成24年9月24日

モデル事業に対する最初の印象

- 森町には保育園が2ヶ園あり、いずれも安定した経営が確保されているなか、乳児の需要が増加をしてきました。需要の増加に伴い保育士の確保が難しく、人材派遣に頼らなければならない状況が生じてきました。又、若い職員の増加に伴い、経験豊かな職員との間に保育の質の格差が生まれてきました。
- これらの中で保育の質を保っていく為の人材育成と今後の保育業界での動向を踏まえ、今の保育園の抱えている課題を見つけいく必要性を感じていました。

実施したこと(取組内容の概要)

- WEB経営診断自己点検結果の外部評価の実施
 - WEB経営診断チェックリストの記載項目についてのインタビュー
 - 出来ている、出来ていないについてのすり合わせ
 - 課題の抽出と取組事項の洗い出し
 - 取組事項のスケジュール化(ロードマップ作成)
- 改善への取組(初年度)
 - 経営理念の具現化
 - その他改善活動の実施

実施したこと(外部評価)

現状課題	主要課題
経営理念の共有と経営理念の具現化	行動レベルでの法人理念の定着
事業計画の策定	経営PDCAサイクルの定着
コンプライアンス	人材を育成できる仕組みの構築
業務分掌の明確化、役割分担	
法人整備	

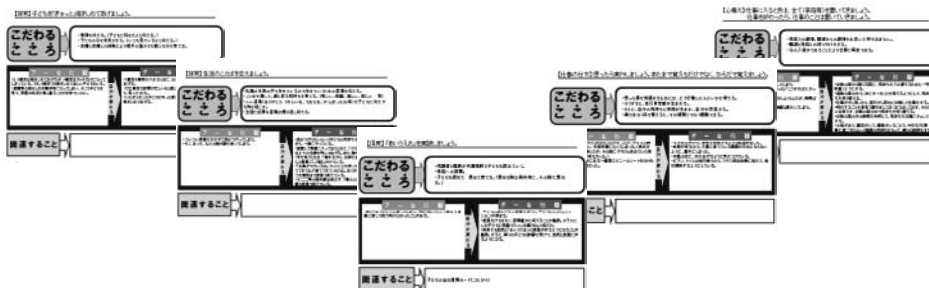
- 今回の調査では、以下の項目に関する評価が分かれた
 - 事業計画を策定していたのでYesとしたが、園内で共有されていなかったため、正式な事業計画ではないと判断された。
 - コンプライアンスに関する規程がないためNoとしたが、実質的に就業規則でカバーしているため、Yesとなった。
 - 業務分掌が分かる資料はあったのでYesとしたが、資料間のつながりや整合がないため、課題ありと判断された。

実施したこと(取組事項のスケジュール化)

取組事項	取組事項の概要	実施方法・進め方	スケジュール表												担当部署	予算(千円)の概算				
			2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028						
法人格取得準備	法人格取得の準備として、法人格取得の要件を満たすための準備を進め、法人格取得の申請を行う。	法人格取得の要件を満たすための準備を進め、法人格取得の申請を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
法人格取得	法人格取得の申請を行い、法人格取得の許可を得る。	法人格取得の申請を行い、法人格取得の許可を得る。																		
法人格取得後の準備	法人格取得後の準備として、法人格取得後の業務の準備を進め、法人格取得後の業務を開始する。	法人格取得後の準備として、法人格取得後の業務の準備を進め、法人格取得後の業務を開始する。																		
法人格取得後の業務	法人格取得後の業務として、法人格取得後の業務を開始する。	法人格取得後の業務として、法人格取得後の業務を開始する。																		
法人格取得後の評価	法人格取得後の業務の評価を行い、法人格取得後の業務の改善を図る。	法人格取得後の業務の評価を行い、法人格取得後の業務の改善を図る。																		
法人格取得後の改善	法人格取得後の業務の改善を行い、法人格取得後の業務の効率化を図る。	法人格取得後の業務の改善を行い、法人格取得後の業務の効率化を図る。																		

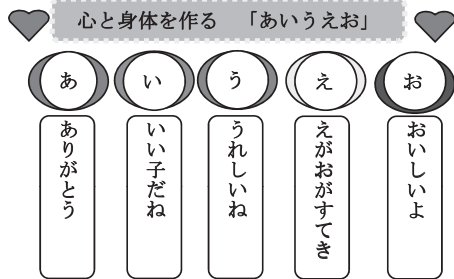
実施したこと(経営理念の具現化)

- 子どもを「ぎゅっ」と抱きしめてあげましょう。
- 生活のことばを伝えましょう。
- 「あいいうえお」を実践しましょう。
- あたまで覚えるだけでなく、からだで覚えましょう。
- 仕事に入るときは、すべてを家庭に置いてきましょう。仕事を終わったら、仕事のことばは置いていきましょう。

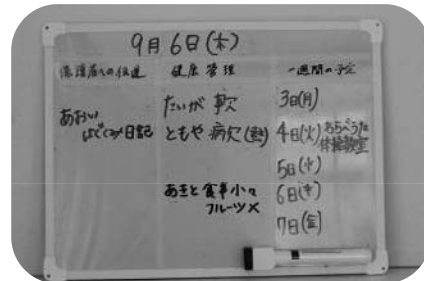


実施したこと(その他の改善)

【子どものほめ言葉カード】



【ホワイトボードの活用】



【グリーンカーテン】



取組の効果

- この取組を通じて、各職員の「気づき」の意識が高まったと感じている。
- 例えば、職員の自発的な改善活動として、ヒヤリハットの報告内容(職員の配置図、視野など)の改善を行うことができた。

下: 改善分析

問題	原因	対策	効果
ヒヤリハット発生	作業範囲の不明確	作業範囲の明確化	ヒヤリハット発生率の低下
作業効率の低下	作業手順の不明確	作業手順の明確化	作業効率の向上
作業安全の確保	作業環境の悪化	作業環境の改善	作業安全の確保



- 「いのち」を預かる職場として、各職員に危機管理の重要性が浸透し、その結果、保護者との一層の信頼関係を作ることができると期待しているところである。

次にやること

- 全職員に行動規範を浸透させるために、冊子等を作成する。
- 年に3回程度は、自己評価を行い、出来ていること、出来ていないことを挙げる。
- 職員会議等の場で、課題や問題点を話し合い、行動規範を一層充実させていく。



最後に(モデル事業を受けて)

- 保育園の具体的な課題が明確になった。
- 行動規範を作成するための話し合いの中で、職員の良い行動や良くない行動を具体的に聞くことが出来、それを課題として参加メンバーとして話し合いができた。⇔ 人材育成に繋がる。
- 外部の第三者が入ることにより、内部だけでは気づけないことに気づけた。
- 経営の視点と保育の視点を関連させて考えることに苦労した。